

表面処理

ARC EG-1 FCの性能を長期に保つには正しい表面処理を行うことがたいへん重要です。

処理されたコンクリート表面は、構造的に問題なく、汚れが一切無く、またICRI (国際コンクリート再生協会) の指標3以下 (60グリットの紙やすりの仕上げと同様) に粗面仕上げしてください。ARC EG-1 FCコンクリート補修モルタルは、表面に湿りがあっても構いませんが、濡れた状態 (例：静水) では使用できません。

スラブオングレードには防湿層をお勧めします。防湿層がない場合は、蒸気転送を必ずチェックしてください。

表面洗浄および処理方法

水プラスト	スキャリファイニング	スキャッピング
スチールショットプラスト	ドライ研磨プラスト	研削

古いコンクリートの場合

以下を含む表面の汚れを完全に除去してください。

古いコーティング	埃	レイタンス
可溶性塩類	剥離コンクリート	疎水性の汚れ

コンクリート表面から、グリース、オイル、汚れなどを、水ベースの乳化アルカリ洗浄剤を使用して除去し、十分ゆすいでください。

上記した表面洗浄方法の1つかそれ以上を使用してください。

新しいコンクリートの場合

処理を行う前に最低28日間硬化させてください。

上記した表面洗浄方法の1つかそれ以上を使用してください。

詳細についてはコンクリート用ARC使用ガイドを参照してください (ウェブページ / リソースセンター)。

混合

混合前にARC EG-1 FCの温度を最低10°C (50°F) にしてください。

ARC EG-1 FCコンクリート補修モルタルの成分は、以下の混合率に従い、事前に計量されています。

B剤をA剤に加え、更にC剤をゆっくり加え、材料の色と粘度が均一になるまで混合してください

混合率 - 1.9 ガロンユニット - 35 ポンドシリカ粒ブレンド3袋と混合
0.63 ガロンユニット - 35 ポンドシリカ粒ブレンド1袋と混合

作業時間 - 単位:分

	4°C (40°F)	25°C (77°F)	40°C (104°F)
ARC EG-1 FC	>120分	30分	10分

「作業時間」は混合開始からの時間で。

塗布

- 端部の起伏を防ぐために、補修の対象となる領域の外周に、ある深さまで切り込みを入れてください。
- 補修領域内の損傷コンクリートを、健全なコンクリートが現れるまで、削り取ってください。
- 処理されたコンクリート表面に、ARC EG-1 FCを目的の厚さになるまでこてで塗布してください。

蒸気の放出/膨れの確率を低減するために、コンクリートの温度が上昇している間はARC EG-1 FCを設置しないでください。屋外で使用する場合は、こうした問題を避けるために夕方あるいは夜間の設置をお勧めします。

塗布面積

厚さ	ユニットサイズ	塗布面積
12 ミリメートル (½ インチ)	7.2 リットル (1.9 ガロン) 3 袋	2.25 m ² (24.2 ft ²)
	2.4 リットル (0.63 ガロン) 1 袋	0.75 m ² (8.1 ft ²)

軽荷重対応段階に到達する前に、ARC EG-1 FCは、いずれかのARCエポキシ製品でオーバーコートすることが可能です。ARC NVEは、ARC EG-1 FCを20°C (70°F) で24時間以上硬化させた後塗布することが可能です。詳細については、ARCテクニカルサービスにお問い合わせください。

硬化時間

	4°C (40°F)	25°C (77°F)	40°C (104°F)
不粘着	16時間	3時間	20分
軽荷重	-	6時間	30分
全荷重	168時間	6時間	-

洗浄

市販の溶剤 (アセトン、キシレン、アルコール、メチルエチルケトン) で使用後の工具を直ちに洗浄してください。一旦硬化すると機械で削り取らなければなりません。

保管

10°C (50°F) から32°C (90°F) で保管することをお勧めします。輸送中にこの温度範囲を断続的に逸脱しても問題はありません。使用前に室温に戻してください。製品寿命は開封しない限り2年間です。液体材料は使用前に十分混合してください。

安全性

使用前に必ず適切な安全シート (MSDS) あるいは貴地の適切な安全シートを参照してください。

標準の作業時間や作業開始に関する手順があれば、それに従ってください。

貯蔵期間 (未開封容器): 2年 [乾燥した、湿気のない屋内施設で10°C (50°F) から32°C (90°F) で貯蔵した場合]